

も お か

2025 10
令和7年10月 No.845

広報もおか 845号/令和7年10月1日発行/発行人 真岡市長 中村和彦/編集 秘書広報課広報広聴係

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>

No.175
わが家の天使たち

上高間木の
あ く つ せ な
阿久津 清風 くん(1)



好奇心旺盛でママとパパが大好きな清風くん。いつもニコニコ笑って、みんなを笑顔にしてくれます。これからもご飯をもりもり食べて大きく育ててね。
(パパ・ママより)

笑顔
をさがして

412 人目の笑顔さん
や な ぎ ゆ う た
柳 裕太 さん



今年の夏、真岡市役所のインターンシップに参加しました。真岡市の発展に向けたさまざまな活動を体験・見学でき、とても素晴らしい経験になりました。この経験を生かし、さらに頑張っていこうと思います。

も お か の コ コ が す ご い !

栃木県内 14 市の中で、真岡市が独自で実施している行政サービスを紹介します。
(令和7年3月調べ)

学ぶ意欲と挑戦を応援 未来への一步をサポート

子育て(教育)編

市では、子どもたちの挑戦を応援し、成長を後押ししています。学ぶ意欲や夢に向かう気持ちを大切に、自分らしい未来を描けるようサポートを行っています。



その他のオンラインサービスはこちら
ID13356

小中学生の英検・漢検検定料を補助




英語検定・漢字検定、それぞれの検定料の約半額を補助

※英語検定・漢字検定それぞれ年度内1回のみ

高校生の海外留学費用を一部補助




短期コース(7日以上~1カ月未満) 3万円
長期コース(1カ月以上) 6万円を補助

※他の補助制度も利用する場合は、補助額に制限あり

【対象】市の小中学校に在籍する児童生徒
市内在住で市外の小中学校等に在籍する児童生徒

【申請期間】令和7年10月15日~11月15日
令和8年3月1日~3月31日

【申請方法】市HP内オンライン申請で申し込み、または、市HPから申請書類をダウンロードし、必要書類を添えて下記窓口へ提出

詳細は市HP参照 ID9161

(問・学校教育課教育政策係Tel 81-9052)

【対象】市内に住所を有し、高校に在籍している生徒およびそれに準ずる学生

【対象となる留学】学校長の承認を得た、令和7年5月1日~令和8年3月31日までに出発する7日以上海外留学プログラム

【申請方法】市HPから申請書類をダウンロードし、出発の1カ月前までに下記窓口へ提出

詳細は市HP参照 ID5294

(問・秘書広報課友好都市交流係 Tel 83-8184)



もおかグリーンツーリズム 梨の収穫体験 (P11 関連記事)

特集

令和7年度 子ども議会
住み慣れたまちでこれからも(高齢者福祉サービス・移動スーパー)
マイナ救急運用開始
令和7年度 市民アンケート調査結果



真岡のより良い未来を考える 子ども議会

8月8日(金)、子ども議会が本庁舎の議場で開催され、今年度は市内の中学2年生 21 人が参加しました。子ども議会は、市議会の体験を通じて市政への興味・関心を深めるとともに、子どもの目から見た市政への夢のある提言を求めることを目的としています。(問・生涯学習課青少年係Tel 82-7152)

議長紹介

議会を代表する議長は、議場の秩序を保ちながら会議全体をまとめる役割を担います。今回は次の3人が交代で議長を務め、中立かつ公平な立場で議事を進めました。



やまざき たかと
真岡中 山崎 登兎 議長



あきやま まひろ
真岡東中 穂山 真寛 議長



たさき まき
真岡西中 田崎 慎 議長

議員・質問内容



真岡市の歴史のPR方法について、SNSやmonacaなどを活用し、取り組みを周知してはどうでしょうか。

やたべ ふうま
真岡中 谷田部 風馬 議員

【答弁】市では歴史教室等の事業を開催し、情報を SNS を活用して発信していますが、若い参加者が少ないことが課題となっています。また、複合交流拠点施設 monaca では、歴史研究団体の方が作成した資料の展示を行い、好評をいただいています。今後も歴史に関する企画展などを計画し積極的に活用していきたいと考えています。



各中学校で実施している国際交流報告会について、市全体で実施し、交流の様子を共有してはいかがでしょうか。

あべ つばき
真岡中 阿部 椿 議員

【答弁】合同で報告会を開催することは、各国の文化の違いを学び、海外への関心の幅をさらに広げる大変良い機会になると思います。報告会の持ち方について、教育委員会と学校とで相談しながら考えていきたいと思っており、真岡市の中学生が、将来世界で活躍するためのきっかけとしていきたいと思っています。



市の伝統文化について、若者が SNS 等で発信したり、真岡木綿で新しい商品やアイテムを作る予定はありますか。

あきやま そうすけ
真岡東中 秋山 創亮 議員

【答弁】市では、文化遺産を次世代に継承するため「真岡ふるさと遺産」の認定や、伝統文化の周知のためプレスリリース配信サービスを活用し、広範囲にわたる情報発信を行っています。真岡木綿は来年、復興から 40 周年を迎えることから、真岡商工会議所では新商品のアイデアを若い皆さんから募集することを前向きに検討しています。



自然に興味を持つことができるよう、老若男女、誰でも参加できる自然体験型のイベントを開催してはどうでしょうか。

すずき はると
真岡東中 鈴木 陽斗 議員

【答弁】市としても、だれもが楽しめる自然体験型のイベントは、自然に触れ合い、その大切さを学ぶために、とても重要だと考えています。今後、年齢や性別に関わらず誰でも参加できる自然の中でのスタンプラリー開催を考えていきます。あわせて、多くの人が参加したいと思えるような情報の発信に努めていきます。



いがしらリゾート内に写真スポットの設置や市のクイズなどを提示して、市の知名度向上を図ってはいかがでしょうか。

さいとう ふわり
真岡西中 齋藤 ふわり 議員

【答弁】市では昨年度いがしらリゾートエリアのデジタルマップを整備しました。このマップを活用し、フォトスポットを盛り込めるよう栃木県などに働きかけるとともに、真岡市の PR につながるクイズについてもいがしらリゾート秋フェス内のイベントの一部として実施できるよう関係者と相談してきたいと思っています。



歩行者の避暑のために屋根つきのベンチ等を学生が設計し、地元の企業が作成したものを道路内に設置することはできますか。

ひげた いちろう
真岡西中 白下田 一葉 議員

【答弁】道路は通行者の安全性を第一に考える必要があるため、道路上に物を設置する場合には道路を管理する県や市の許可を得る必要があります。ベンチ等の設置は条件を満たす場合に限り許可されますので、事前に相談してください。なお、熱中症対策として、クーリングシェルターをご利用いただきたいと思います。



移動可能なフォトスポットや空き店舗を活用したPOPUP ショップを設置する考えはありますか。

大内中 佐藤 遙乃 議員

【答弁】 現在「あく里っ娘」敷地内に設置されている 70 周年記念事業として作成した巨大いちごオブジェが、回遊性と観光の PR 向上につながると期待しています。また、空き店舗の活用については、昨年 6 月にまちづくり拠点「コレカラ」をオープンしました。キッチンを備えたレンタルスペースがあり、POPUP ショップとしてもご活用いただけます。



健康週間を設け、防災無線での呼びかけや健康講座の開催、医師が地区ごとに巡回してはいかがでしょうか。

大内中 西田 鉄平 議員

【答弁】 市では国に合わせて健康週間を実施しています。また、年間 100 回以上「まちなか保健室」などを会場として日中だけでなく夜間も健康講座を実施し、市の公民館等で年間 73 回無料の健康診断を実施しています。防災無線は緊急性が高い情報を放送するため、現在のところ考えていませんが、今後は SNS 等を活用して情報発信に取り組んでいきます。



移動スーパーの利用状況と販売場所を増やし、キッチンカーで軽食を販売することを検討いただけないでしょうか。

長沼中 坂田 愛実 議員

【答弁】 移動スーパーの利用状況は運行開始から 6 月までで約 2 万 7 千人の方にご利用いただいております。販売場所については、皆さんのご意見を反映しながら場所の追加を検討していきます。また、キッチンカーでの販売については、利用者や地域の皆さんからのご意見を聞きながら検討していきたいと思います。



子どもたちが農業にふれる機会として地域の農家の方々と学校が連携して農業体験学習を実施するのはどうでしょうか。

長沼中 柳田 美月 議員

【答弁】 いがしらファームでは季節に応じさまざまな野菜の収穫体験ができます。また、出前講座では農業に関するテーマもありますのでご活用ください。このほか尊徳さんの田んぼで米作り体験や市内の全小中学校で農業体験学習を実施しています。今後も農家の方々と協力し、子どもたちが農業に関心を持てる取り組みを行ってきたいと思います。



部活動を専門的な指導者が見てくれるようになれば生徒のスポーツへの意識も高まると思いますが、部活動の在り方についてどのように考えていますか。

山前中 菱沼 結 議員

【答弁】 市では今年の 9 月から市内全中学校の剣道部と一部の卓球部が、休日は専門的な指導者が指導する地域クラブとして活動することとなり、令和 8 年度以降、さらに種目を増やせるよう、準備を進めています。生徒の皆さんがさまざまな種目やレベルに応じた活動を体験できるよう取り組んでいきたいと考えています。



交通事故の減少と交通安全の増進のため、街灯を増やし、縁石を設置してはいかがでしょうか。

山前中 横山 綺乃 議員

【答弁】 市では防犯灯の設置費用の一部を負担し、生活環境の整備を行っています。また、縁石の設置については、道路を広げる必要があり時間がかかるため、早急に安全対策ができる白線の引き直しなどを実施し、市民が安全に通行できるよう、学校や地域の区長さんなどと連携して、歩行者の安全確保に努めていきます。



ラーケーションを導入することで家族との時間ができ会話も増え、心の安定につながると思いますが市ではどうお考えでしょうか。

久下田中 松本 琉莉 議員

【答弁】 市におけるラーケーション※の導入について、各家庭の状況により取得できない家庭があることや家庭で学習を補う負担が増えることなどを考慮し、現時点では導入を見送りたいと考えています。市内の魅力ある施設を市民の方々に家族で楽しんでいただけるよう、広く情報発信をしていきたいと思っています。

※平日に家族や保護者と一緒に校外学習を行うことを目的とした休みを取得できる制度



公園でのボール遊びについて、時間帯やスペースを区切ることで他の利用者への危険が減り、遊べるようになると思いますがいかがでしょうか。

久下田中 仁平 采那 議員

【答弁】 公園でのボール遊びについては、他の利用者や近隣住民からご意見をいただき「公園のボール遊びのお願い」を配布しています。野球やサッカーなどの練習で利用する場合は運動場、ネットやフェンスが整備された公園を利用していただきたいと思います。今後も、誰もが安心して公園を利用できるよう、利用マナーの啓発に努めていきます。



久下田の商店街の魅力発信のためのイベント開催や開催に関するマニュアルの作成、イベントボランティアバンクを設置していただきたいです。

中村中 毛利 恵朋 議員

【答弁】 商店街を歩行者天国として実施している久下田祇園祭などのイベントを通じて地域の魅力を発信していきます。関係手続きについてはマニュアル化が難しいため商工観光課までお問い合わせください。また、イベントボランティアバンクについては「コラボーレもおか」が同様の役割を担っていますので活動内容を積極的に周知していきます。



大学教授やジャーナリストなどいじめについての専門家による講座を各校で開催していただきたいです。

中村中 鵜澤 歩叶 議員

【答弁】 栃木県教育委員会では学校の希望に応じて「いじめ・不登校」などに関する専門家を派遣し、生徒や保護者、教職員を対象に講座を行う事業を実施しています。今後は、市内全小中学校でいじめがなくなり、児童生徒が安全に安心して学校生活を送れるよう、この事業の活用について、各校に周知したいと思います。



市の防犯・安全の向上のために防犯カメラや街灯の設置、緊急時のためにこども 110 番の家の増設などを検討いただけないでしょうか。

物部中 平石 雄大 議員

【答弁】 防犯カメラは利用者の多い公園や全ての小中学校の敷地内に設置しています。生活道路などの街灯の設置については、各自治会で設置しており、地域の防犯活動を支援するため費用の一部を負担しています。こども 110 番の家については、学校と連携し、より多くの緊急避難場所が確保できるよう地域の皆さんや店舗等に協力を呼びかけていきます。



誰もが簡単に運動を楽しむことができるニュースポーツの体験会を学校や地域で開催してはいかがでしょうか。

物部中 渡邊 滯 議員

【答弁】 市ではニュースポーツ教室を年 3 回開催するほか、イベントを利用して体験会を開きニュースポーツの普及に努めています。また、スポーツ推進委員が学校や自治会等へ出向いてニュースポーツの体験会を開く出前講座も行っています。今後も、市民が手軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供できるよう取り組んでいきます。

高齢者福祉サービスのご案内

真岡市では、高齢者の方が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けることができるよう、さまざまな支援により在宅生活をサポートしています。

購入サポート

老人福祉車（シルバーカー） 購入費助成

購入前の
事前申請

65 歳以上の杖等を必要とする方で、5 年以内に本制度を利用していない方に助成券を交付します。

※購入費用の 1/2 上限 6,000 円まで

高齢者補聴器購入助成

購入前の
事前申請

65 歳以上で、加齢により聞こえのレベルが軽度～中度レベルで日常生活に不便を感じている非課税世帯（世帯全員が非課税）の高齢者に対し、補聴器購入費用の一部を助成します。



老人性白内障特殊眼鏡等費用助成

65 歳以上で老人性白内障手術を受け特殊眼鏡等により視力の回復が可能な方に、眼鏡などの購入費用の一部を助成します。

交通サポート

高齢者福祉タクシー

バイクや自家用車を所有・使用をしていない 65 歳以上の世帯の方に、市内民間タクシー利用券（500 円分）を毎年最大 60 枚交付します。



ねたきり高齢者等の方の外出支援

高齢者介護を必要とする方へ、病院等への外出に必要な交通経費を一部助成します。（リフト付き車両およびストレッチャー装着ワゴン車の利用支援）

真岡いがしら温泉への無料送迎

毎月第 2 週目に、もおかベリー号の中継地（停留所）から温泉まで送迎しています。



もしものために

緊急通報システム

65 歳以上の高齢者のみの世帯で、身体状態により支援が必要な方に、緊急通報装置を設置します。

救急医療情報キット配布

65 歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対して、急病、災害等の緊急時に備え、救急医療情報キットを配布しています。



健康のために

真岡いがしら温泉おふろ café いちごの湯利用料助成

満 70 歳になった月から、月 1 回の利用料金を助成します。
※年 12 回まで



はり・きゅう・マッサージ施術料助成

70 歳以上の方に、施術料助成券を交付します。
※年最大 6 回まで



真岡市オンリーワン事業

真岡市が独自に実施している県内高水準の行政サービスです。



問い合わせ

高齢福祉課
高齢者福祉係
Tel 83-8195



申請方法

申請書は高齢福祉課、二宮支所にあるほか、一部の書類は市ホームページでもダウンロードできます。必要事項を記入し、添付書類等と一緒に申請してください。

そのほか購入前に申請が必要なものについては、事前に説明しますのでお問い合わせください。

移動スーパーを利用しませんか？

移動スーパーは、移動販売車が真岡市内を巡回し、地域の皆さまのお買い物をサポートする買い物支援事業です。お買い物を身近に便利に、楽しいと感じていただける場として利用されています。

【利用できる方】

真岡市民の皆さまどなたでも

【販売商品】

生鮮品、加工食品（お総菜など）、日用品など



利用者の声

毎週来ている。近所の方とお話
ができて楽しみ。



重たいものや冷凍のものが自宅
の近くで買えるので、助かって
いる。



農作業の合間に買い物ができて
便利。



普段の買い物は家族にお願いし
ているが、自分の好きなものを
買えるので楽しみ。



事業者から



基本的な食品やおかずは用意して
います。季節のものやリクエストがあ
ればできる限り対応しています。

問い合わせ

高齢福祉課地域支援係
Tel 83-8132

真岡市社会福祉協議会
地域福祉施設係
Tel 82-8844



10 月 27 日（月）から運行コース・販売時間を一部変更します

※：新たに追加された販売所

月		火		水		木		金	
上江連 薬師堂	10:20 ～	西沼公民館	10:20 ～	境自治 公民館	10:15 ～	西田井駅前 公民館	10:25 ～	西原地区 公民館	10:15 ～
鷲巣公民館	10:45 ～	君島公民館	10:50 ～	田廣地 地蔵尊境内	10:50 ～	赤羽上 公民館	11:00 ～	上谷貝 交流会館	10:45 ～
七原公民館	11:05 ～	新 旧宮田 ストアー 駐車場	11:15 ～	高田公民館	11:15 ～	京泉 第一公民館	11:25 ～	南中里 公民館	11:10 ～
長沼自治会 会館	11:30 ～	水戸部自治会 公民館	11:45 ～	上物井 公民館	11:40 ～	上大田和 集落センター	12:00 ～	北中里 集落センター	11:30 ～
にのみや野外 活動センター 駐車場	12:00 ～	反町公民館	12:05 ～	西物井 公会堂	12:05 ～	長沼 自治会会館	14:30 ～	間木堀 公民館	11:55 ～
芳全寺南側	14:05 ～	三谷 農村広場	14:25 ～	大根田 集落センター	14:10 ～	加倉地域 運動公園	15:05 ～	新 横田公民館	14:05 ～
新 (尙)田代 農機商会 西側駐車場	14:25 ～	高田新町 自治公民館	14:45 ～	阿部品 地域公民館	14:35 ～	新 高勢町 第三公民館	15:30 ～	高勢町 第2公民館 駐車場	14:35 ～
ヒロセ オート東	14:55 ～	大沼公民館	15:30 ～	程島 自治公民館	15:05 ～			長田公民館	15:00 ～
宿中公民館	15:25 ～			古山島田 自動車前	15:35 ～			柳林公民館	15:30 ～

あなたの命を守る！ マイナ救急



マイナ救急とは

救急隊員が傷病者の健康保険証として利用登録したマイナンバーカード「マイナ保険証」を活用し、傷病者の医療情報を閲覧する仕組みのことです。令和7年10月1日から運用を開始します。
(問・芳賀地区消防本部警防課Tel 82-1088、危機管理課消防防災係Tel 83-8396)



マイナ救急利用の流れ



もしものときのためにマイナンバーカードを持ち歩こう

マイナ保険証があれば、話すのがつらいときや、服用中の薬を忘れてしまったときでも、救急隊員に提示するだけで、あなたの病歴や処方薬、受診歴などを伝えることができます。「マイナ救急」によって傷病者の説明負担が軽減され、より適切な処置を受けられるようになります。



マイナ救急を利用するためには、マイナンバーカードを所有し、健康保険証の利用登録が完了している必要があります

【マイナンバーカードの健康保険証利用登録方法】
マイナンバーカードと暗証番号（4桁）を用意。
医療機関・薬局のカードリーダー、マイナポータル（スマートフォン・ICカードリーダー付きパソコン）、セブン銀行ATMで、画面の案内に従い、カードを読み取り、暗証番号を入力して手続き完了。



令和7年度 市民アンケート調査の結果

この調査は、本市施策の成果指標として、市民の皆さまの意識や満足度を把握するため、実施しているものです。今回は23項目の質問の中から、主な結果を紹介します。

【調査の概要】
対象者：満18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
調査時期：令和7年3月
調査方法：郵送した調査票を返送、またはweb回答
回答者数：1,265人（回答率42.2%）

真岡市のイメージは「いちご」

真岡市のイメージ「日本一のいちごのまち」については、「感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた割合で、75.3%の市民の方が日本一のいちごのまちと感じています。



住みやすいと回答した方は85%

真岡市を住みやすいまちと思うかについては、全体で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合で、85.0%の人が住みよいと思っていますと回答しました。
年代別では、80歳以上が100%と最も高く、次いで40～49歳89.1%、70～79歳88.2%の順に、住みよいと感じている割合が高いことがわかりました。



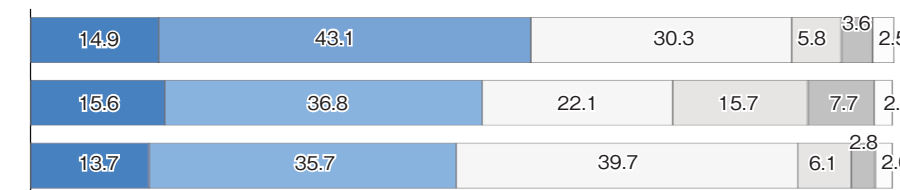
自然豊かで買い物にも便利、しかし交通には厳しい声も…

真岡市の施策について、18項目のうち「満足」「やや満足」を合わせた割合が最も高い項目は「緑や水辺などの自然環境」次いで「日常の買い物の便利さ」「排ガス・ばい煙などの大気状況のよさ」の順で、環境の良さや商業施設等に対する満足度が高いことがわかりました。
一方、「不満」「やや不満」を合わせた割合が最も高い項目は「公共交通機関などの交通網」「通勤・通学の便利さ」と交通に関する点に不満が多いことがわかりました。



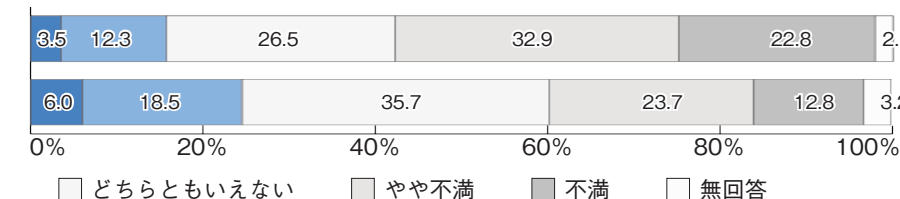
満足度の高い施策

緑や水辺などの自然環境
日常の買い物の便利さ
排ガス・ばい煙などの大気状況のよさ



満足度の低い施策

公共交通機関などの交通網
通勤・通学の便利さ



※端数処理により、各項目の内訳を合計しても100%にならない場合があります

今回の調査結果を踏まえ、市政運営に反映させていきます。調査にご回答いただいた皆さま、大変ありがとうございました。詳しい調査結果は、市HPをご確認ください。
(問・総合政策課総合政策係 Tel 83-8102)



表彰

8.21 (木)

まちを支える確かな技術と匠の技で未来を築く 優良建設工事表彰式

令和6年度に完成した建設工事のうち、優秀な成績で施工した会社へ表彰状が贈られました。(敬称略、カッコ内は代表取締役氏名)

土木工事部門 株式会社阿久津土建(阿久津亮)
松本建設株式会社(松本敬介)
有限会社松本工務店(松本八聡)

建築工事部門 剋真建設株式会社(小林克男)
松本・剋真特定建設工事共同企業体
(松本建設(株) 松本敬介・剋真建設(株) 小林克男)



管工事部門 日神・扶桑・ヨシバ特定建設工事共同企業体
(株扶桑 近藤将人・株ヨシバ 葭葉範史)

舗装工事部門 株式会社水澤土建(水澤良輔)

造園工事部門 日光建設株式会社(館野育大)



イベント

8.15 (金)

川面に揺れる灯りとともに紡ぐ夏の思い出 真岡の灯ろう流し・金鈴荘縁日

かがり火やろうそくの明かりに照らされ、行屋川水辺公園一帯が幻想的な雰囲気になりました。川面には約3,000個の灯ろうが次々と浮かび、祈りを込めた温かな光がゆらめきながら流れていきました。また、金鈴荘では真岡まちづくりプロジェクトによる縁日が開かれ、かき氷やわたあめを楽しみ、夏の夜を満喫しました。



表敬訪問

8.22 (金)

国土交通省 下館河川事務所より 河川愛護活動で感謝状受賞

“真岡の自然を守る会”が河川愛護活動で感謝状を受賞し、中村市長に報告を行いました。鬼怒川・五行川での清掃活動や自然観察会などを長年続け、河川の環境保全と美化に尽力してきたことが高く評価されたものです。子どもたちへの環境教育にも力を注ぎ、自然の大切さを伝えています。こうした地道な取り組みは、ふるさとの豊かな自然を未来へつなぐ力となっています。



左から、中村市長、高松健比古会長、仁平昭副会長



イベント

8.23 (土)

浴衣や揃いの衣装で華やかに踊りを披露 もおか木綿踊り

荒町本通りを会場に、もおか木綿踊りが開催されました。ダンスフェスティバル、流し踊り、サンバパレードの三部構成で行われ、流し踊りには企業・団体・グループなど約1,500人の踊り手たちが参加しました。あでやかな浴衣や揃いの法被姿で息の合った踊りを披露し、会場は華やかさと祭りの熱気に包まれました。



活動

9.6 (土)

海外友好都市とつながる文化と友情の輪 高校生オンライン交流会

海外友好都市であるアメリカ・グレンドーラ市と真岡市の高校生がオンラインで交流しました。交流会では、互いに文化や歴史をはじめ、高校生活などを英語で紹介し合い、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。また、グレンドーラでインターン生として活動を行う真岡市出身の大学生と大学院生が現地で交流のサポートを行い、両市の親善に貢献しました。



イベント

8.30 (土)

にぎわう盆踊りと華やく花火 夏の終わりを飾る 尊徳夏まつり 2025

“尊徳夏まつり 2025”が鬼怒川河川敷緑地公園で開催され、多くの来場者でにぎわいました。会場には模擬店が立ち並び、ステージでは尊徳太鼓の演奏やダンスが披露されました。日が暮れると提灯の灯りに包まれた納涼盆踊りが夏の夜を彩り、クライマックスには約5千発の花火が夜空を華やかに染めました。



活動

9.9 (火)

市政を知り、社会を学び、未来を描く インターン生が広報の仕事を経験

市では、市政への理解を深めてもらうため、市役所業務に興味を持つ高校生や大学生を対象にインターンシップを実施しています。今回は、白鷗大学3年生の竹下愛琉さんが広報広聴係で議会見学や取材活動、テレビ収録でのアナウンス業務を行いました。職員が働く姿を身近に感じながら業務への理解を深め、市政への関心を高める貴重な機会となりました。



イベント

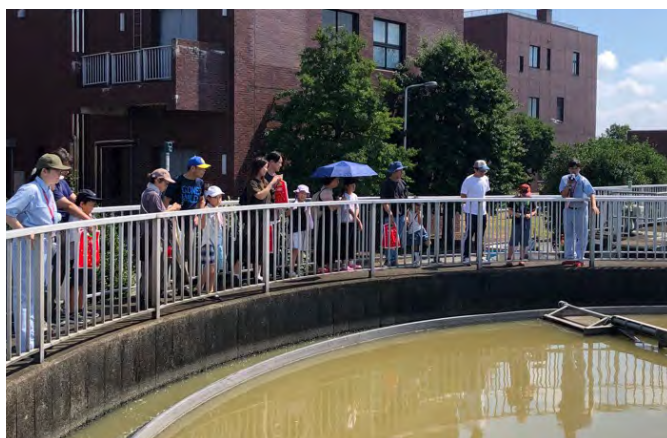
9.7 (日)

太陽と自然が育んだ旬の味を満喫 真岡グリーンツーリズム 梨の収穫体験

寺内の細島なし園で、旬を迎えた梨の収穫体験を開催しました。体験会には20人が参加し、農園の方から食べ頃の梨の見分け方や収穫方法を教わったあと、一つひとつ丁寧に摘み取りました。採れたての梨を味わい、太陽の恵みをたっぷり受けて甘く実った秋の味覚に「おいしい!」との声があがり、みずみずしい旬の味を楽しみました。

イベント 9月10日は下水道の日 きれいな水の秘密を学ぼう
下水道施設見学会

下水道の日に合わせて“下水道施設見学会”が開催され、小中学生の親子など13組が参加しました。この見学会は、生活排水の流れや下水道の役割について理解を深めることを目的としたもので、参加者たちは、真岡市水処理センターを訪れ、職員の説明を聞きながら施設内を巡りました。水がどのような過程を経てきれいになり、再び自然へ戻るのかを学び、下水道の大切さを実感しました。



市政情報 PLUS+

【人口と世帯数】令和7年9月1日現在 ※カッコ内は前月比
77,746人（-10）男39,478人（-30）女38,268人（+20）
33,600世帯（+58）住民基本台帳と外国人登録者数（4,461人）から算出
真岡市公式アプリは、広報紙の電子版や防災行政無線などの防災情報に直接アクセスできます。無料で誰でも利用できますので、ぜひダウンロードしてお使いください。



詳しくは市HPで
ご確認ください
ID 6350

真岡てらうち産業団地
土地譲渡の予約に関する協定を締結

8月25日（月）、真岡てらうち産業団地の第2期予約分譲企業に内定した、神商精密株式会社および新日金ホールディングス株式会社と土地譲渡の予約に関する協定を締結しました。
（問・商工観光課商工業係Tel 83-8134、産業団地整備室Tel 83-8706）



業務の効率化と職員の健康増進
などに向けた連携協定を締結

8月1日（金）、NECソリューションイノベータ㈱と真岡市は、市のDX推進と職員の健康増進・生産性向上を目的とした連携協定を締結しました。また、同社デジタルヘルスケア・未来都市統括部の大木一浩さん（写真・左）を市DXフェローに委嘱しました。本協定を通じて、業務改革や庁内データの活用による効率化を進めるとともに、睡眠改善支援などの取り組みを進め、職員の健康増進と生産性向上を図り、質の高い行政サービスの提供を目指します。
（問・デジタル戦略課デジタル政策係Tel 83-8394）



宝くじの助成金で無線機を導入

火災現場や災害発生時における情報伝達体制の強化を目的として、真岡市消防団にハイブリッド型IP無線機6台を導入しました。この無線機は、宝くじの受託事業収入を財源に（一財）自治総合センターが実施する、宝くじの社会貢献広報事業・コミュニティ助成事業の助成金を活用して整備したものです。
（問・危機管理課危機管理係Tel 83-8197）



わたのみ基金・善意銀行

8月に寄付をされた方々です。ご協力ありがとうございました。
（敬称略、問・社会福祉協議会Tel 82-8844）

わたのみ基金

白蛇辨財天 2,552円
（有）ハヤセ 16,000円

善意銀行

JAはが野真岡地区・二宮地区女性会 食品一式
匿名 紙おむつ5袋

真岡で活躍している人を応援します

それいけ！
まちびと



私は埼玉で生まれ、小学校から高校時代を宇都宮市、大学時代は東京で過ごしました。真岡市に引っ越してきたのは平成23年です。パーソナリティになったきっかけは、FMもおかのパーソナリティ募集のチラシでした。昔勤めていた会社で広報を担当していたことがあり、ラジオパーソナリ

FMもおか番組「イブニング！もおか（月曜日の午後4時から）」で「突撃！真岡の晩ごはん！」や「もおかDEもおかりまっか」などのコーナーを担当する直井さんに、パーソナリティになったきっかけやラジオを通して伝えたいことについて取材しました。

ティの仕事には元々興味があったため応募しました。せっかくなら真岡にちなんだことがしたいと思い現在の担当番組の企画をしましたが、パーソナリティを始めた当初は慣れないインタビューやスーパーでの取材交渉に苦戦しました。しかし、取材をしていく中で知り合いが増え、出会った人に「ラジオ聴いたよ」と言われると、地域の人々となつがっていることを実感でき、やりがいを感じます。また、仕事をきっかけにできた縁が多く、パーソナリティの仕事をして知り合った方のお誘いでコットンウェイ硬式野球倶楽部に入団し、野球を楽しみながら若い世代の人と交流する場もできました。真岡に来てからもうすぐ15年になりますが、自分が生まれた場所よりも地域とのつながりを強く持っています。今後は、地域の方々やお店と協力してFMもおかをもっと身近で聞いてもらえるような企画をしたいと思っています。また、野球の練習を頑張つて、今のチームで全国大会出場を目指したいです。

集まれ mokafan

みなさんのSNS投稿作品を紹介

インスタグラムやフェイスブック、エックスなどのSNSで、#mokafan や#真岡応援カメラマンが付いた作品から、今回は「食欲の秋」をテーマに紹介します。
（問・秘書広報課シティプロモーション係 Tel 81-6947）

ご自身のSNSアカウントで「#mokafan」「#真岡応援カメラマン」をつけて写真を投稿してください。



市HP
ID 13734



真岡市公式
Instagram



♡♡♡ #もめん茶屋



♡♡♡ #ハラハチ



♡♡♡ #カフェ GEN

#真岡ごはん 真岡の「美味しい」をお届けします。



①さめフライとさめの唐揚げ ②豆腐ハンバーグ ③ブッダプレート ④店舗外観 ⑤⑥店内の様子 ⑦店主の服部健二さん

【所在地】西田井 1068-3 【電話】88-0941

【駐車場】14 台程度

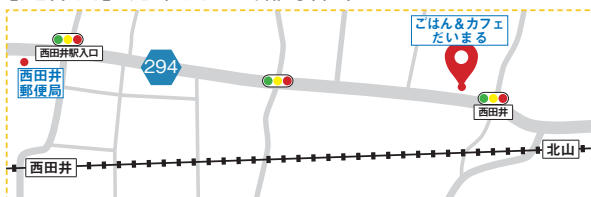
【営業時間】

火～木曜日 10:30～17:00

金～日曜日 10:30～16:00

17:00～20:00

【定休日】月曜日 ※臨時休業あり



ごはん&カフェ だいまる（西田井）

地元の食材を活かし、彩り豊かな手作りごはんが味わえるカフェです。お店のスタッフでリノベーションした店内は、雰囲気の異なる2つの空間を楽しむことができます。店主のおすすめは、気仙沼産うかさをを使った人気メニュー「さめフライとさめの唐揚げ」です。香ばしくジューシーな味わいをぜひご賞味ください。

読者プレゼント

応募締切 令和7年10月31日（金）※消印有効

抽選で、メニューの本日のごはんの中から「お好きなだいまるプレート1つ」を3名にプレゼントします。専用応募フォーム、または官製はがきに必要な事項を記入し、応募ください。

【必要事項】応募者情報（住所・氏名・年齢・連絡先）
広報紙に関するご意見・ご感想など

【応募先】〒321-4395 真岡市荒町5191番地
秘書広報課広報広聴係
「広報もおか10月号プレゼント」担当



応募フォーム

-注意事項-

- *市内外問わず1人1通応募可
- *応募数が定数を超えた場合は抽選
- *当選者のみ当選券を発送

あの日あそこ 第435回



たべ みつあき
田邊 光明さん
(熊倉町大谷在住・77歳)

地域に一番近い
仕事したい

私は市貝町の市塙に生まれました。子どもの頃は、夏は川で魚とり、秋は山でキノコ採り、冬は山で鳥追いなどをして遊んでいました。

小学4年生の時、岐阜県にできたペンフレンドをきっかけに文通が趣味になりました。英語を勉強して、中学2年生の頃にはアメリカ・オーストラリア・フィンランドなどにもペンフレンドができ、航空便の到着を待つ日々でした。いつしか交流は途絶えてしまいましたが、岐阜県のペンフレンドとは、66年を経た今もメル友としてつながっています。

大学では社会福祉を学び、主な専門は地域福祉と社会教育、今で言う生涯学習です。学業だけではなく、YMCAの子ども会やキャンプリダーのボランティア、家庭教師、学童保育指導員のアルバイトなど、たくさんの経験をしました。



▲キャンプリダーとしてトーチサービスの実演

大学卒業後は、大学予備校講師兼カウンセラー等を経て、真岡市の社会教育指導員となり、一般職、再雇用を含めて32年間勤務しました。地域

▲ラダーゲッターの講師として

の一番近くで仕事がしたいという学生時代からの望み通り、ほとんどを公民館や分館で勤務しました。この間全国公民館連合会から永年勤続表彰、退職の前年に優良職員表彰を受けました。定年後は熊倉4区の区長を10年務め、地域づくり事業に取り組み、市政功労（自治功労）の表彰を受けました。区長退職後も、地域でミニデイホームと介護予防体操の運営、市のおか出前講座の講師、真岡市オレンジサポーターとして、みなさんと楽しい時間を過ごしています。

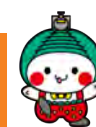
今のもう一つの楽しみは、下野新聞への川柳・短歌・詩・読者登壇への投稿です。新聞を開き、掲載されていたときの感動は何とも言えません。

昨年見舞われたガンの手術や、持病の腰の痛みとの闘いもありますが、これまでに会った職場や地域の人々に感謝しながら、特技を糧に、明るく、若く、楽しく生きていきたいと思っています。

人生はまだこれからと励ましを
市報に私の歩みが載りて

消費生活センターメモ No.508

安く魅力的な「広告」から誘導される
ネット通販トラブル



<事例> 動画投稿サイトを見ていたら高級ブランドバッグの広告が流れた。広告にあったURLにアクセスして代引き配達で注文した。本日、代金を支払って受け取ったが、届いた商品は「偽物」だった。

「SNS上の広告」や「代引き配達」に注意する

動画投稿サイトやSNS上の広告がきっかけでトラブルに遭うケースが増えています。

事例のように、代引き配達で代金を支払ってしまうと、宅配業者からの返金は困難です。

また、販売業者に返金を求めようとしても「サイト自体が見つからない」「住所や電話番号の情報が虚偽だった」「連絡先の記載がない」など、連絡が取れないケースがあります。

注文前の確認ポイント

①通常価格より大幅に値引きされた広告は疑う

②サイト画面を最後までスクロールして「特定商取引法に基づく表記」の内容を確認する

販売業者の住所、電話番号の記載があるか、当該住所に所在しているか、購入後に返品できるか（返品特約の有無、条件）などを確認する。

③銀行振り込み等の「前払い」を指定されたら購入しない

④偽通販サイトは、代引き配達が多いため注意する

「粗悪品が届いた」「商品が届かない」「連絡が全く取れない」などの相談が増えています。

⑤クレジットカード払いを選択したにもかかわらず「代引き配達」に変更された場合は、取引しない

【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）

TEL 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）

平日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※相談料無料